

研究活動を支援する AIエージェントの現状と課題

日時：2026年3月3日（火）15:00～16:15

場所：ハイブリッド（金研2号館講堂＋オンライン）

対象：金研所属の全ての教員（特任教員、事務職員、
事務補佐員および大学院生の方も任意で参加可）
学内の希望者（所外の方は参加登録をお願いします）

参加費：無料



参加申し込みフォーム

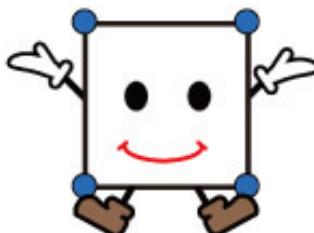
講師：相澤 彰子 教授
国立情報学研究所



略歴

国立情報学研究所コンテンツ科学研究系教授／大規模言語モデル研究開発センター副センター長。
1990年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。学術情報センター助手、国立情報学研究所助教授を経て、2003年より現職。東京大学大学院情報理工学系研究科教授および総合研究大学院大学情報学専攻教授併任。
専門は自然言語処理、情報検索。

近年、AIは研究活動に大きな影響を与えています。文献検索を高度化するDeep research機能をはじめ、研究支援に特化したAIエージェント、さらには自律的に論文を執筆するAIサイエンティストなども登場しており、研究活動のあり方は急速な変容を遂げています。本講演では、特に言語処理の観点から技術の現状を俯瞰し、AIが研究活動にもたらす変化や課題を論じて頂きます。また、これらの技術とどのように共存し活用していくべきかという観点から、今後取り組むべき課題や将来の展望についてご講演頂きます。



【事務担当】

金属材料研究所総務課研究協力係
TEL:022-215-2183(内線2677)
E-mail:imr-kenkyo@grp.tohoku.ac.jp